

まちづくり交付金 事後評価結果

湘南ライフタウン周辺地区

平成21年12月

神奈川県藤沢市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	藤沢市		地区名	湘南ライフタウン周辺地区			面積	458ha		
交付期間	平成17年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	622	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 道路事業(辻堂駅遠藤線・湘南大庭35号、57号、58号、68号線自転車歩行者専用道) 公園事業(鍛冶山公園・下の根第一公園・遠藤公園・大庭城址公園・大庭丸山公園) 公営住宅等整備事業(市営滝の沢住宅)									
			提案事業	地域創造支援事業(保健医療センター整備事業)									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			提案事業	なし									
	新たに追加した事業		基幹事業	まちづくり活動推進事業(公園ワークショップ、愛護会育成事業・くらしまちづくり会議活動事業)		各事業について、資料図面作成等を委託により実施する予定であったが、市職員が作成等を行ったため、提案事業から関連事業へ変更。			指標への影響は無し				
			提案事業	地域生活基盤施設事業(大庭小学校、滝の沢小学校、大庭中学校屋内運動場耐震補強)		当地区の目標である「安心、安全なまちの創出」を達成するため、小中学校屋内運動場の耐震補強事業を新たに追加する。			指標3:防災に関する市民満足度を新たに追加。				
交付期間の変更		当初	平成17年度～平成19年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			事業、数値目標への影響は無し 指標3の追加					
		変更	平成17年度～平成21年度										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	保健医療センター来庁者数	人/年	27,547	H15	30,000	H19		29,147	△	あり なし	保健医療センター来庁者数については、目標値を達成出来なかったが、健康づくり実習室の改修により、総合健診受診者等に対する食生活改善等の健康相談が充実し、健康相談に関しては、974人から1847人へと増加が図られた。	
	指標2	環境改善参加ボランティア数	人/年	4,810	H15	12,000	H19		12,458	○	あり なし	公園の新設及び再整備等により、清掃ボランティア等の団体数や活動回数が増加し、目標値を達成した。	
指標3	防災に関する市民満足度(湘南大庭地区、1000点換算)	点	605	H16	650	H21		651	○	あり なし	地区の避難施設である小中学校屋内運動場の耐震化等により、まちの防災性の向上が図られ、住民の満足度が高まった。	平成22年12月1日	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	健康づくりや疾病予防体制の充実に関する市民満足度(湘南大庭地区、1000点換算)	点	609	H16				647			まちづくりの目標でもある健康づくり等の効果を確認するために設定し、評価値からも住民の満足度を確認することが出来た。	
	その他の数値指標2	地域の道路整備や交通安全対策など良好な生活環境の維持、整備に関する市民満足度(湘南大庭地区、1000点換算)	点	567	H16				623			当地区における既存道路の整備の効果を確認するために設定し、評価値からも住民の満足度を確認することが出来た。	
	その他の数値指標3	公園の整備に関する市民満足度(湘南大庭地区、1000点換算)	点	664	H16				700			当地区における新設公園や既存公園の整備の効果を確認するために設定し、評価値からも住民の満足度を確認することが出来た。	
その他の数値指標4	バス交通など公共交通の利便性に関する市民満足度(湘南大庭地区、1000点換算)	点	597	H16				603			バス交通など公共交通の利便性に関する満足度は、ほぼ横這いであり、公共交通の充実を図るためバスを軸とした新たな公共交通システム等の導入が必要である。		
4) 定性的な効果発現状況	鍛冶山公園・下ノ根第一公園においては、公園ワークショップ形式を用い住民主体で計画を作成したので、地域住民同士のコミュニケーションが図られ、地域交流の場となった。また、整備した公園については、より身近に感じられる公園となった。市営滝の沢住宅の浴室のバリアフリー化整備については、高齢入居者等の利便性の向上が図られた。大庭城址公園のスロープ手摺設置等の整備については、子供から高齢者まで幅広く施設利用の向上が図られた。												
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス		平成17年度には鍛冶山公園ワークショップ事業、平成18年度には下ノ根第一公園ワークショップ事業を実施した。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も市民の意見聞いて、公園事業を行っていく。		
	持続的なまちづくり体制の構築		平成18年度には鍛冶山公園愛護会、平成19年度には下ノ根第一公園愛護会を設立した。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 公園愛護会設立後は、市民が中心となり公園の維持管理を行っていく。		

